

Rotary  あすかロータリークラブ
Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長 : K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー : 中澤 忠嗣

会長 : 澤 光彦 エレクト : 吉川 隆博

副会長 : 松中 久 幹事 : 森下 秀城

クラブ会報委員長 : 富士川拓也

Vol. 25 No. 12 (No. 1159) 2015 年 9 月 24 日発行

前回のニコニコ ¥46,000 / 前期会費預かり分 ¥855,000 / 今年度累計 ¥1,211,500



晩夏ホテアオイ 撮影地：橿原市城殿町 本薬師寺 撮影者：井上重行

第 1159 回 2015 年 9 月 24 日 (木)

「月見例会」 於：ヴェルデ辻甚

- 1 開会点鐘
- 2 ソング
- 3 会長報告
- 4 幹事報告
- 5 委員会報告
- 6 閉会点鐘
- 7 会食

1158 回報告 2015 年 9 月 17 日 (木)

於：橿原ロイヤルホテル

ソング

「奉仕の理想」

ソングリーダー 岩井 常二会員

ゲスト

戸田 守亮様 (卓話講師)

ビジター

- 岡崎 優君 (宮崎西 RC・会長)
- 山本 剛君 (宮崎西 RC・幹事)
- 金丸 憲史君 (宮崎西 RC・直前会長)
- 長峰 広志君 (宮崎西 RC・直前幹事)

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1158 回	57	23	42 (16)	3	90.00
第 1156 回	57	23	39 (17)	10	96.08

ニコニコ報告

岡崎 優君・山本 剛君
金丸 憲史君・長峰 広志君 (宮崎西 RC)
皆様の温かい心遣いに感謝です。これからよろしくお付き合いください。

澤 光彦君 岡崎会長はじめ 4 名の宮崎西 RC の皆様、ようこそ、あすか RC にお出でいただき感謝しています。

以下同文

- 吉川 隆博君 杉本 憲秀君 脇本 弘文君
住吉 襄一君 猪尾 清君 田中 和宏君
- 北岡 忠義君 誕生日のお祝いありがとうございます。83 回目です。来年は 7 回目の年男になる予定です。
- 中川 基成君 9 月 30 日にはいよいよ私も還暦の仲間入りです。誕生日プレゼントありがとうございました。
- 野々垣博紀君 郵政 3 社が公開されます。ご用命は「みずほ証券」によりしく願います。まだまだここにいたいので。

会長挨拶

○昨日より宮崎西 RC の岡崎会長他 3 名のメンバーの方たちが、我々のクラブにお越し下さいました。昨夜の食事は奈良東 RC の創立 25 周年記念式典に森下幹事と共に参加しましたので、私たちは 2 次会から合流いたしました。こうしたご縁を作っていただいた杉本直前会長及び脇本幹事、竹田会員には、大変お世話になりました。私の所信表明にもありますように、この出会いを大切に、将来にわたってよいご縁になるように心掛けていきたいと思っております。本日は朝から松中副会長の先導で橿原神宮に正式参拝をいたしました。産経新聞の一面に連載されている「海道東征をゆく」の神武天皇にゆかりのある宮崎西・あすか、両クラブの弥栄 (いやさか) を祈ってまいりました。

○本日は例会後、石井ガバナー補佐を迎えアッセンブリーを開催致します。有意義な会議になることを期待しています。

幹事報告

- クラブアッセンブリーについて (概況、名簿配布)
- IM の案内
11 月 7 日 (土) 12:00~18:00
講師：智辯学園和歌山校 野球部監督 高嶋仁氏

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

○地区大会の案内

2016年4月3日(日) 場所: ロームシアター京都
○次週9月24日(木) お月見例会は夜間例会

委員会報告

○25周年記念事業委員会

チケットの件・ ジャンパーの件

次回の例会

「米山月間」

米山奨学生 マハルザン・ナレンドラ様

「歴史から学ぶ

現代人の心に響く 日本文化の発進」

檀原市文化協会 会長 戸田 守亮様

こんにちは。今日で第3回目の講演をさせていただきます。

まず最初に日本が誇る万葉集より歌を紹介させていただきます。

采女の袖 吹きかへす

明日香風都を遠み いたづらに吹く

(巻1-51 志貴皇子)

(志貴皇子…天智天皇の子。壬申の乱により皇統が天武天皇の系統に移ったため、天智天皇系皇族であった彼は皇位継承とは全く無縁で政治よりも和歌等の文化の道に生きた人生だった清澄で自然鑑賞に優れた歌い手として万葉集に歌を残している。)

父 天智天皇の勢力があった時代は多くの皇子に囲まれたて楽しかったけれども、明日香から藤原に都が移され自分の周りの人々も藤原京に移り風に振れる畝傍にいる人の袖も少なくなったなという気持ちを歌った歌です。

藤原の 古りにし里の 秋萩は

咲きて散りにき 君待ちかねて (巻10-2289)

恋人が来るのを待ちきれずに藤原の古京の里の秋萩は咲いて散ってしまった。人生もいずれは散ってしまうという心境を詠んだ歌です。

「歴史から学ぶ現代人の心に響く日本文化の発進」

今の政界情勢を見ていただくと分かりますように、外交関係がこじれてくると複雑になってまいります。日本の場合も歴史を紐解いてまいりますと各地域ごとに豊かで平和な生活をしていました。これでは一つの日本国とならないということで国家観が生まれました。どのような国家観がいいかと考え出したのが律令国家です。

律=してはならないこと。(刑法)

令=しなくてはならないこと。(行政法)

701年に出来た大宝律令というのが日本で最初に律と令がまとめられた法典が作られました。この時に日本の社会に合わせたものでなければならぬということ踏まえ、律令は政治を行うということを非常に重要視しました。この時つくられた役所はそれ

以来明治時代1まで1200年程続きました。今も呼び名が残っている大臣という役職名も701年には制定されております。大きなセクションとして国全体を司る太政官と天皇が神を祀る神祇官がありました。政治を補佐するのが太政官で、天皇を補佐するのが神祇官で名前は変わっておりますが今もなお続いています。

大宝律令ができた事により、それまで地域別々に決められていたことを国家の名において一つにまとめられました。大宝律令は土地と人民はすべて国家の所有(公地公民)として政治を進めてきました。これを班田収授法と言います。また、6年ごとに戸籍の見直しも定められました。これは今でいう国勢調査の様なものです。国家として税金(租・庸・調)制度もこの頃にでき、国家を守るためには国民一人ひとりが国を守るという意識が必要だということで兵役義務も設けられました。それまでバラバラであった国家観が律令ができたことにより少しずつ国民生活に定着し、国民生活も大きく前進してまいりました。日本文化の良さが生まれてきたのもこの頃からではないでしょうか。律令が出来た最初の頃は、隼人や蝦夷といった人々が反抗していましたが、律令が浸透していくに従い、彼らも大宝律令に賛同していきました。

日本の国旗 日の丸は、701年大宝の時代に生まれています。また、国家 君が代が生まれたのもこの頃です。君が代は読み人知らずで古今和歌集にも載っています。

日本国家は701年の大宝より始まり、いろいろな歴史を経て現在に至っています。

来訪 宮崎西 RC のみなさん



(左から) 岡崎会長・澤会長・金丸前会長・山本幹事・長峰前幹事

石井光洋ガバナー補佐をお迎えした クラブアッセンブリー

